

## 名前：佐藤 克春

最終学歴：一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程

職名：准教授

学位：博士（経済学）

担当科目：環境経済学，ミクロ経済学 AC1，ミクロ経済学 B，経済政策・専門演習第 7，  
専門基礎演習第 7，地域政策入門 C2

所属学会：環境経済・政策学会，日本環境学会，日本土地環境学会，唯物論研究協会，日本環境会議

専門分野：環境経済論・環境政策論

### ■研究業績

#### 【著書】（共著、編著、執筆分担を含む）

1. 佐藤克春「東京都六価クロム鉍滓事件に見る公害隠滅の構造－鉍滓封じ込め処理の帰結－」，畑明郎・上園昌武編『世界思想ゼミナール 公害隠滅の構造と環境問題』，p87～102，2007年4月，世界思想社.
2. 佐藤克春「東京都 23 区の土壤汚染対策の実態 - 対策の「ギャップ」から見えてくるもの - 」，日本科学者会議公害環境問題研究委員会編『環境展望 Vol.5』，p121～142，2007年10月，実教出版.
3. 佐藤克春「台湾の土壤汚染－台南市安順工場における土壤・水質汚染－」，畑明郎・田倉直彦編『アジアの土壤汚染』，p187～202，2008年9月，世界思想社.
4. 佐藤克春「改正土壤汚染対策法の批判的検討」，畑明郎編『深刻化する土壤汚染』，p187～202，2011年1月，世界思想社.
5. 佐藤克春「リスク評価論の政策利用の批判的検討～市街地土壤汚染を念頭に～」，日本科学者会議・日本環境学会編『予防原則・リスク論に関する研究』，p189～199，2013年5月，本の泉社.
6. 佐藤克春『市街地土壤汚染問題の政治経済学』，2015年3月，旬報社（平成 26 年度科研費研究成果公開促進費（学術図書））.
7. 原水爆禁止 2018 年世界大会・科学者集会編『東アジア非核地帯構想～アジアでの市民連帯を考える～』，本の泉社，2018年11月.

## 【論文】

1. 佐藤克春「土壤汚染の費用負担問題に関する一考察 - 東京都 6 価クロム事件を事例として -」, 修士論文 (一橋大学), 2004 年 3 月.
2. 佐藤克春「東京都六価クロム事件—日本における市街地土壤汚染処理のファースト・ケース」, 『人間と環境』, 日本環境学会, 32 (2), p95~104, 2006 年 6 月.
3. 佐藤克春「東京都北区豊島 5 丁目団地のダイオキシン類汚染—市街地土壤汚染問題のケーススタディー」, 『日本の科学者』, 日本科学者会議, 41 (5), p228~231, 2006 年 5 月. \*
4. 佐藤克春「改正土壤汚染対策法の批判的検討」, 『人間と環境』, 日本環境学会, 36 (1), p30~36, 2010 年 3 月. \*
5. 佐藤克春「市街地土壤汚染問題の政治経済学的分析」, 博士課程学位論文 (一橋大学), 2012 年 3 月.
6. 佐藤克春「リスク評価論の政策利用の批判的検討～市街地土壤汚染を念頭に～」, 『日本土地環境学会誌』, 日本土地環境学会, 19, p21~33, 2012 年 10 月. \*
7. 佐藤克春・阿部新「福島第 1 原発による土壤汚染の除染の現状—南相馬市・川内村の事例から—」, 『人間と環境』, 日本環境学会, 39 (1), p18~25, 2013 年 2 月.
8. 佐藤克春・阿部新「福島第 1 原発事故による土壤汚染の除染の現状—南相馬市・川内村における汚染状況重点調査地域の除染事例から—」, 『環境経済・政策研究』, 環境経済・政策学会, 6 (2), p54~59, 2013 年 9 月. \*
9. 佐藤克春「除染の資金メカニズム——会計検査院報告書を読む」, 『環境と公害』, 日本環境会議, 岩波書店, 2015 年 7 月. \*

## 【その他】(報告書、書評、翻訳、エッセイなど)

<その他執筆>

1. 佐藤克春「地球からの警告⑥土壤汚染」, 『婦人通信』, 日本婦人団体連合, no.565, p36-37, 2005 年 7 月.

2. 佐藤克春・平岩幸弘「札幌市リサイクル団地および酪農学園大学におけるリサイクル事業--2005年現地調査研究会報告」, 『人間と環境』, 日本環境学会, 31(3), p145~147, 2005年11月.
3. 佐藤克春「書評『地域と環境政策 環境再生と「持続可能な社会」をめざして』磯野弥生・除本理史編著」, 『月刊東京』, 東京自治問題研究所, Vol.282, p36-38, 2007年7月.
4. 佐藤克春「築地市場の豊洲移転問題の焦点ー豊洲新市場予定地の土壌汚染を中心にー」, 『月刊東京』, 東京自治問題研究所, Vol.287, p30-34, 2008年1月.
5. 佐藤克春「土壌汚染対策法の問題点と改正論議」, 『消費者レポート』第1412・1413合併号, 日本消費者連盟, p4-5, 2008年8月.
6. 佐藤克春「日本科学者会議編『環境事典』土壌汚染」一部執筆, 旬報社, 2008年10月.
7. 佐藤克春「築地市場移転問題とリスク・コミュニケーション」, 『月刊東京』, 東京自治問題研究所, vol.298, p29~34, 2009年1月.
8. 佐藤克春「環境経済・政策学会編『環境経済・政策学事典』市街地土壌汚染」執筆, 丸善出版, 2018年5月.

<研究助成>

1. クリタ水・環境科学振興財団平成24年度研究助成, 「福島第1原発周辺自治体における土壌汚染の除染処理に向けた政策研究」(助成番号24606), 2012年10月~2013年9月.
2. 平成24年度科学研究費補助金(研究活動スタート支援), 「福島第1原発事故に伴う土壌汚染の除染処理水準と費用負担」(研究課題番号24810007), 2012年8月~2014年3月.
3. 住友財団平成24年度環境研究助成「福島第1原発事故による土壌汚染の除染処理水準と費用負担」(助成番号123037), 2012年11~2014年4月.
4. 平成26年度科学研究費補助金(若手B), 「除染水準と費用負担の自治体間比較研究」(研究課題番号26870664), 2014年4月~2018年3月

5. 平成 29 年度科学研究費補助金（基盤 C）、「福島第 1 原発周辺自治体における除染と帰還の実態研究」（助成番号 17K04164），2017 年 4 月～

#### 【学会報告・研究発表】

1. 佐藤克春「頻発する都市の土壤汚染—対策の現状と課題—」，2006 年 2 月，日本科学者会議公害環境問題研究委員会・日本環境学会共催，文京シビックセンター。
2. 佐藤克春「東京都心部における土壤汚染対策の現状と問題点」，2007 年 2 月，「築地市場の豊洲移転を考えるシンポジウム」，日本科学者会議公害環境問題研究委員会・日本環境学会共催，国立がんセンター国際研究交流会館。
3. 佐藤克春「東京都心部における土壤汚染対策の現状と問題点」，2007 年 7 月，日本環境学会 33 回大会記念シンポジウム「築地市場の豊洲移転を考えるシンポジウム」，日本環境学会主催，東京農工大学。
4. 佐藤克春「台湾におけるストック汚染の実情と課題—台南市安順地区汚染サイトのケーススタディから—」，2008 年 6 月，一橋大学アジア環境プロジェクト発足シンポジウム「アジア環境協力」のための基本戦略と総合政策に関する社会科学的学際共同研究，一橋大学。
5. 佐藤克春「豊洲新市場予定地の土壤汚染対策と問題点」，2008 年 7 月，新日本婦人の会 江東支部学習会，東大島文化センター。
6. 佐藤克春「土壤汚染対策法批判—東京都内の現場を念頭に—」，2008 年 11 月，環境・廃棄物問題研究会，大東文化大学。
7. 佐藤克春「市街地における土壤汚染—足元の環境問題—」，2008 年 11 月，武蔵野大学オムニバス環境問題【環境学】のことはじめ，武蔵野大学。
8. 佐藤克春「豊洲土壤汚染問題におけるリスクマネジメントとその課題」，2010 年 12 月，日本科学者会議 食糧問題研究委員会 汚染地への移転 いいの？—築地市場の実情と先々を考える—，東大島文化センター。
9. 佐藤克春「市街地土壤汚染と環境リスク」，2011 年 2 月，日本科学者会議（公害環境問題研究委員会）・日本環境学会（土壤汚染問題ワーキンググループ）共催「築地市場移転問題総合シンポジウム」，築地市場厚生会館。

10. 佐藤克春「東京都豊洲における土壌汚染～求められるリスクコミュニケーション～」, 2012年12月, 築地移転問題勉強会実行委員会主催「どうなる食の安全?～築地市場移転を考える～」, 弘済会館.
11. 佐藤克春「土壌汚染の費用負担～東京都6価クロム事件を事例として～」, 2005年7月, 第31回日本環境学会(北海学園大学大会).
12. 佐藤克春「東京都北区豊島5丁目団地のダイオキシン類汚染ー市街地土壌汚染問題のケーススタディー」, 2006年7月, 第32回日本環境学会(島根大学大会).
13. 佐藤克春「東京都23区における土壌汚染対策の現状」, 2007年10月, 環境経済・政策学会(滋賀大学大会).
14. Katsuharu SATO, Soil Contaminations in an Urban Area-The Progress of Voluntary Cleanup in Tokyo's 23 wards-, 2006年12月, The 2nd East Asian Symposium on Environmental and Natural Resources Economics In Seoul, Korea, Session II (B):Valuation of Environmental Goods(II).
15. Kazuya WADA/Katsuharu SATO, Environmental Damage and Human Suffering Caused by Soil and Water Pollution at An-shun and Current Government Policy, 2008年2月, The 3rd East Asian Symposium on Environmental and Natural Resource Economics, In Kunitachi, Japan, Session H:Pollution and Relief of its Victims.
16. 佐藤克春「台湾の土壌汚染ー台南市安順工場における土壌・水質汚染ー」, 2008年7月, 日本環境学会34回大会(富山県立大大会).
17. 佐藤克春「改正土壌汚染対策法の批判的検討」, 2010年6月, 日本環境学会大36回大会(横浜国立大学大会).
18. 坂巻幸雄・畑明郎・佐藤克春・本間圭吾・松井英介・高島邦子・安田圭奈江「東京都中央卸売市場移転予定地・豊洲地区の土壌・地下水汚染(第3報)ー2009年度都調査の内容と問題点ー」, 2010年6月, 日本環境学会大36回大会(横浜国立大学大会).
19. 坂巻幸雄・畑明郎・佐藤克春・本間圭吾・松井英介・高島邦子・安田圭奈江「東京都中央卸売市場移転予定地・豊洲地区の土壌・地下水汚染(第4報)ーいわゆる「適用試験」で

示されたデータ処理と「安全宣言」に関する批判―」, 2010年6月, 日本環境学会大36回大会(横浜国立大学大会).

20. 佐藤克春「不確実性・予防原則・対抗的リスクコミュニケーション～放射性物質による土壌汚染を念頭に～」, 2012年9月, 日本科学者会議第18回総合学術研究集会 分科会B-3「予防原則・リスク論を考える」(岡山大学).
21. 佐藤克春「福島第1原発事故による土壌汚染の除染の現状―南相馬市・川内村の事例から―」, 2013年6月, 日本環境学会第39回研究発表会(広島大学).
22. 佐藤克春「除染の自治体間比較―千葉県重点調査地域9市を事例に―」, 2017年6月, 日本環境学会第43回研究発表会(北海学園大学).
23. 佐藤克春「環境経済学 地球温暖化問題から考える」彩の国環境大学公開講座、埼玉県環境科学国際センター、2018年10月6日.

## ■社会活動

<審議会委員等>

1. 国立市ごみ問題審議会委員(学識) 2009年4月～2013年3月.
2. 綾瀬市環境問題対策委員会委員(学識) 2011年7月～2018年3月.
3. 千代田区みらいくる会議委員(学識) 2011年10月～2015年3月.
4. 武蔵村山市廃棄物減量等審議会会長(学識) 2019年5月～継続.

<学会役員>

1. 日本環境学会幹事, 2015年6月～
2. 日本環境学会共同研究部長, 2017年6月～